

# 工事監理報告書 (構造関係)

年 月 日

## (宛先)大田区建築主事

代表となる 事務所名 級建築士事務所 ( )登録第 号  
 工事監理者 所在地 TEL  
 資格・氏名 級建築士 (大臣・知事) 第 号  
 工事施工者 施工者名 建設業許可 (特定・一般) 第 号  
 所在地 TEL  
 氏名  
 建築主 住所 TEL  
 氏名

下記の建築物は建築基準法並びに、これに基づく政令及び条例の規定に適合した施工を行い、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告します。

工 事 名															
建 築 場 所															
確認年月日番号		年 月 日			第 号			構 造 計 算		ルートⅠ-( )、ルートⅡ、ルートⅢ、その他					
工 事 概 要		構 造 種 別		S・RC・SRC・				工 事 種 別		新 築・増 築・					
		階 数		地上 階・地下 階		PH 階		最 高 の 高 さ		m		軒 の 高 さ		m	
		建 築 面 積		m <sup>2</sup>				延 べ 面 積		m <sup>2</sup>					
確認通知後の設計変更 (有・無)		年 月 日 第 号		内 容 1.		年 月 日 第 号		内 容 2.		年 月 日 第 号		内 容 3.			
コ ン ク リ ト	普 通	基 礎		Fc: 18、21、24、27、 N/mm <sup>2</sup>				支 持 地 盤				支 持 力 KN/m <sup>2</sup>			
		～		Fc: 18、21、24、27、 N/mm <sup>2</sup>				直 接 基 礎		独 立、連 続、べ た		液 状 化 対 策 (有・無)			
		～		Fc: 18、21、24、27、 N/mm <sup>2</sup>				杭 基 礎		・打ち込み杭 ・埋め込み杭(セメントミルク) RC、PHC(A.B.C)、鋼管 ・場所打ちコンクリート杭(拡頭、拡底、鋼管巻、 アースドリル、リバース、オールケーシング、BH、深礎) ・異形摩擦杭 認定 ・評定工法( ) 号 認定 ・評定 年 月 日 第 号					
		～		Fc: 18、21、24、27、 N/mm <sup>2</sup>											
	軽 量		LFC: 15、18、21、 N/mm <sup>2</sup> . 比 重				礎								
PCa.		Fc: N/mm <sup>2</sup>		杭		Fc: N/mm <sup>2</sup>									
鋼 材	鉄筋		SR. 235、295 SD. 295(A.B)、345、390				ガス圧接 有・無 (D ~ )		特 殊 材 料・構 法 等		大 臣 認 定 年 月 日 第 号 (認定内容 )				
	形鋼		SS. 400、490 SM. 400(A.B)、490(A.B)、 SN. 400(A.B.C)、490(B.C)、				工場溶接 有・無		建 築 セ ン タ ー 評 定		年 月 日 BCJ- ) (評定内容 )				
	鋼板		STKR. 400、490. BCR295、BCP ( )				現場溶接 有・無		建 築 セ ン タ ー 評 価		年 月 日 BCJ- ) (評価内容 )				
	鋼線 鋼棒						導入時コンクリート強度 Fc: N/mm <sup>2</sup>		建 築 工 事 施 工 計 画 報 告 書 及 び 結 果 報 告 書		計 画 報 告 書 年 月 日 第 号 結 果 報 告 書 年 月 日 第 号				
記入上の注意		◎ 提出及び記入は、原則として工事監理者によること。 ※1 監理者総合所見の欄は、監理目標とその結果に対する所見を具体的に記入すること。 ※2 工事監理組織の欄は、工事の監理体制を具体的に記入すること。 ※3 指摘事項とは是正内容の欄は、工事監理者が検査を行い、指摘した事項とその是正内容を記入すること。													
そ の 他		● 施工写真、施工記録、データ(ミルシート、各種試験結果等)を添付すること。 ● 鉄骨工事をともなう場合は鉄骨工事報告書を添付すること。													

